

平成29年度決算報告について補足します。

広報いばらき（2018年12月1日号）やホームページでお知らせしている平成29年度の決算報告について、歳入歳出決算額の差引額（残額）の用途に関する説明を補足いたします。



平成29年度 決算報告

皆さまが納めた税金や国・県からの補助金がどのように使われたのかを知っていただくために、町の歳入・歳出における決算状況をお知らせします。
また、併せて「平成29年度における健全化判断比率及び資金不足比率」についてお知らせします。

一般会計

歳入

119億1,105万円

歳出

114億6,504万円



歳入決算額 - 歳出決算額 = 差引額

119億1,105万円 - 114億6,504万円 = 4億4,601万円

① 翌年度繰越事業への財源 4,373万円

- 逡次繰越 2,732万円（長岡小大規模改造事業）
- 明許繰越 1,641万円（防災行政無線施設整備事業など）

② 基金への積立て 2億1,000万円

- 地方自治法の規定による基金への積立て
後年度に実施する事業の財源とするため、基金へ積立て（貯金）を行いました。

③ 翌年度への繰越金 1億9,228万円

- 繰越金として翌年度の事業の財源として活用
差引額から①と②を除いたお金は、繰越金として平成30年度事業の財源として、活用します。

